

<略 歴>

(公財) 日本海事センター企画研究部主任研究員 野村 撰雄 (のむら せつお)

1998年上智大学法学部国際関係法学科卒業、2000年上智大学大学院法学研究科博士前期課程修了、2005年同博士後期課程単位取得満期退学、2005年上智大学大学院地球環境学研究科助手、2006年上智大学法学部助手、2007年公益財団法人日本海事センター研究員、2018年より現職。

2006年明治学院大学法学部兼任講師（現在に至る。）、2006年度～2008年度明海大学不動産学科非常勤講師、千葉県警察学校外部講師、2007年度「国際海事機関第93回法律問題委員会」日本政府アドバイザー、2008年度法政大学人間環境学部非常勤講師、滋賀大学経済学部非常勤講師、2015年度東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科非常勤講師、2022年度「国際労働機関2006年の海上の労働条約第4回特別三者委員会」日本政府アドバイザーなどを歴任。

著作に、『環境法へのアプローチ』（共著、2007年、成文堂）、「フィリピンの船員教育をめぐる動向」（KAIUN第1037号、2014年）、” Japanese System for Ocean-going Seafarer”（Mariners’ Digest, Vol. 49、2018年）、「ノルウェーの海運政策」（日本海事新聞2020年2月28日）、「海洋環境保護—MARPOL条約を中心として」環境法政策学会誌第23号（2020年）、『日本のトン数標準税制—その導入課程と特徴』（日本海事センター、

2020年)、「欧州連合(EU)における海洋環境保全法制」環境法研究第14号(2022年)など多数。